東京2020オリンピックトライアスロン競技開催に伴う

交通規制のお知らせ





2021年7月23日から2021年8月2日 にかけて、東京2020競技大会のトライアスロン競技が行われます。それに伴い、期間中お台場地区周辺道路の交通規制を行います。ご迷惑をお掛け致しますが、ご協力をお願い致します。



お台場周辺一般道規制時間

7月23日 🗟 3:30~ 7:45 ごる 個人男女試走

7月24日 3:30~ 7:45 ご 個人男女試走

7月26日 🗐 3:00~10:00で3 個人男子

7月27日 ② 3:00~10:00で3 個人女子

7月30日 ඣ 3:30~ 7:45 ご 混合リレー試走

レインボーブリッジ [台場→芝浦方向] 規制時間

首都高速 [台場入口] も利用できません。

7月23日 😂 3:30~ 7:45であ

7月24日 <table-cell-rows> 3:30~ 7:45ごる

7月26日 ② 3:00~10:00であ

7月27日 ② 3:00~10:00であ

7月29日 念 2:30~10:00で3 予備日 **7/26-27 競技中止 の場合のみ

都心方面へは

- 環状七号線経由の永代通り
- 大井経由の第一京浜をご利用ください。

※次頁以降に日別規制詳細別途記載。 ※2021年8月26日~8月30日開催のパラトライアスロン競技時の詳細は7頁以降をご参照ください。

競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。

交通規制に関する お問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック トライアスロン競技コールセンター 🕓 0570-09-2020

トライアスロン競技コース



個人(男子/女子)



混合リレー



本コースについては、大会運営上の事由等により、変更される場合があります。

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。

7/23 - 24 -

個人男女試走

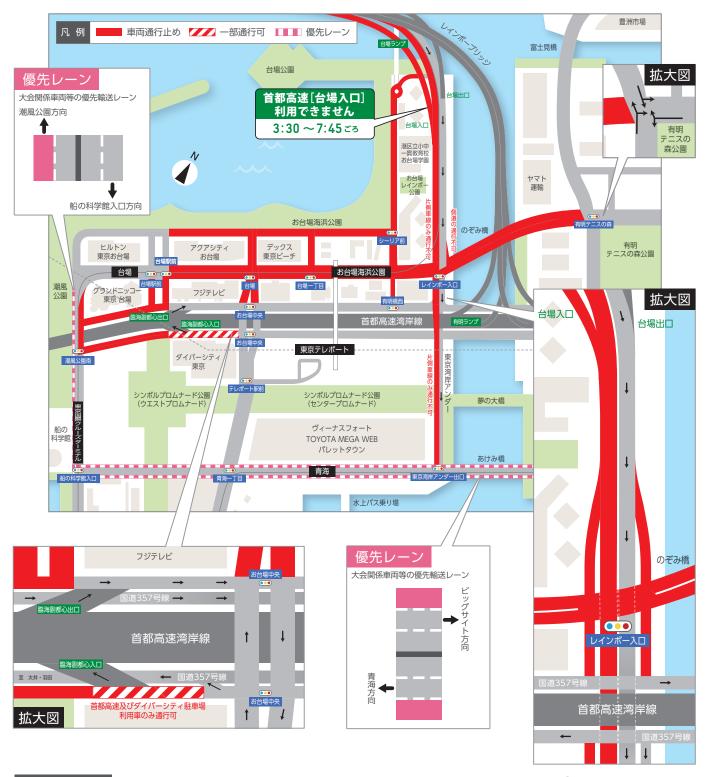




規制時間

3:30~7:45_{ごろ}

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。



交通規制に関する お問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピックトライアスロン競技コールセンター **©** 0570-09-2020 【受付時間】6/1~8/31までの平日 9:00~17:00 ※7/25・8/1は受付 試走日、競技日、予備日(実施の場合のみ) 2:00~17:00

3

7/26日・27四・29日 ※ 26日 ※ 7/26・27 20 ※ 26日 ※ 26日 ※ 7/26・27 20 ※ 26日 ※ 7/26



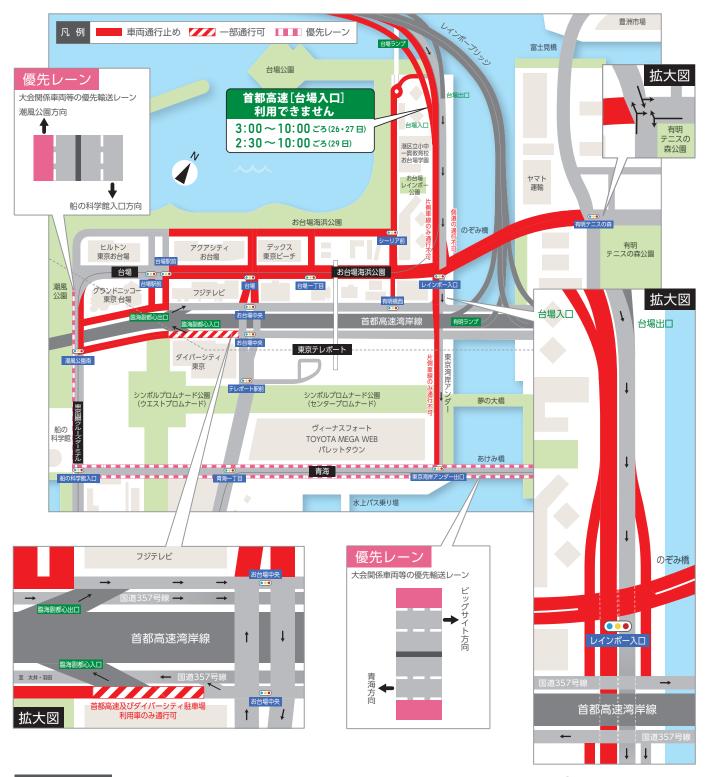


規制時間

26日章 3:00~10:00ごろ

29日命 2:30~10:00ごろ

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。



7/30 金 混合リレー試走

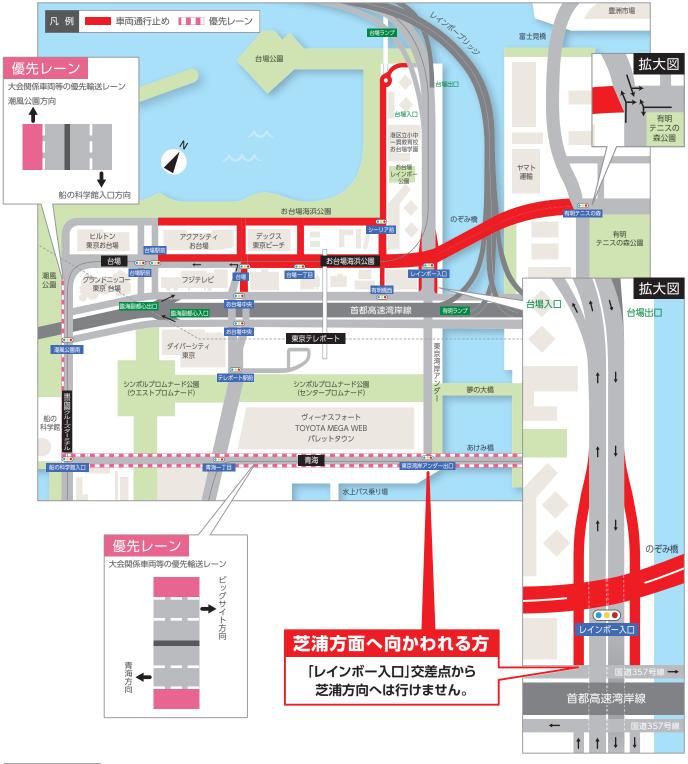




規制時間

3:30~7:45ごろ

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。



東京オリンピック・パラリンピック トライアスロン競技コールセンター 🕒 0570-09-2020

7/31 • 8/2

混合リレー



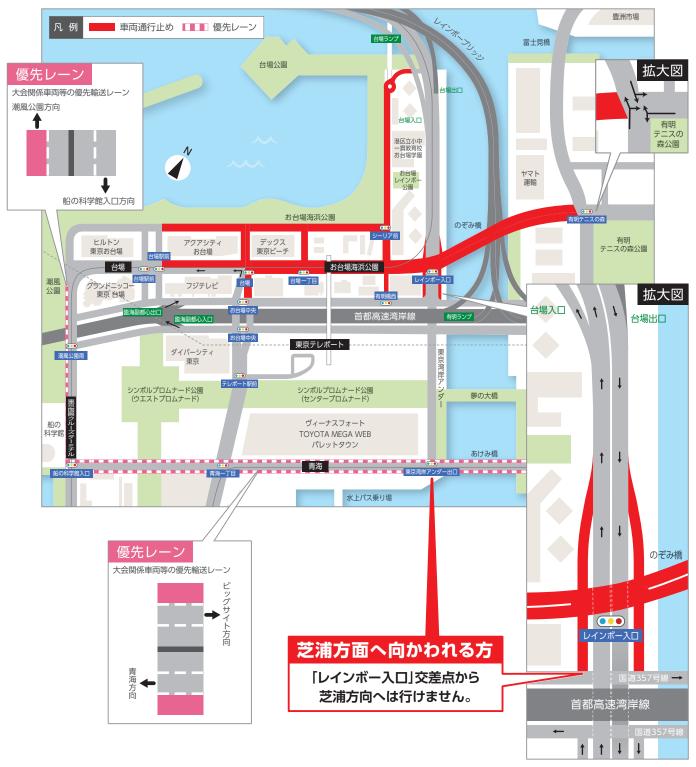




規制時間

4:00~10:30ごろ

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。



東京オリンピック・パラリンピック トライアスロン競技コールセンター 30570-09-2020

東京2020パラリンピックトライアスロン競技開催に伴う

交通規制のお知らせ





2021年8月26日から2021年8月30日 にかけて、東京2020競技大会のパラトライアスロン競技が行われます。それに伴い、期間中お台場地区周辺道路の交通規制を行います。ご迷惑をお掛け致しますが、ご協力をお願い致します。



お台場周辺一般道規制時間

8月26日 🚯 3:30~ 8:15 🕫 パラトライアスロン試走

8月28日 🕀 3:00~11:30 ごろ パラトライアスロン PTS2.PTS4.PTVI クラス

※次頁以降に日別規制詳細別途記載

競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。

パラリンピックトライアスロン 競技コース



8月26日(木)・28日(土)~30日(月)



本コースについては、大会運営上の事由等により、変更される場合があります。

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。

8/26 おパラリンピックトライアスロン試走





規制時間

3:30~8:15ごろ

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。



交通規制に関する お問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピックトライアスロン競技コールセンター **②**0570-09-2020 【受付時間】6/1~8/31までの平日 9:00~17:00 ※7/25・8/1は受付 試走日、競技日、予備日(実施の場合のみ) 2:00~17:00

8/28 · 29 · 30 ·

PTS2,PTS4,PTV I クラス PTWC,PTS5 クラス







規制時間

3:00~11:30ごろ

- ・競技コース及び周辺道路は混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・規制区域内の車両の入出庫および通行は一切できませんのでご注意ください。



交通規制に関する お問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック トライアスロン競技コールセンター 🕚 0570-09-2020

トライアスロン競技





オリンピックの見どころ

スイム、バイク、ラン。

異なる3つの競技を制する真の鉄人は誰だ。

トライアスロンは、スイム(水泳)・バイク(自転車ロードレース)・ラン(長距離走)の3種目を、この順番で1人のアスリートが連続して行う耐久競技。ラテン語の3を表すトライと、競技を意味するアスロンを組み合わせて名付けられた。

オリンピックでは、スイム1.5キロメートル、バイク40キロメートル、ラン10キロメートルの、合計51.5キロメートルで着順を争う。この設定距離は、オリンピック・ディスタンス、またはスタンダード・ディスタンスと呼ばれている。男子のメダリストは1時間45分ほど、女子のトップは2時間を切るスピードで駆け抜けてゆく。

トライアスロンは、1974年に初めてアメリカで競技大会が開催された比較的新しいスポーツである。シドニー2000大会から正式競技となり、男女とも実施されている。東京2020大会では、新種目として男女による混合リレーが行われる。

観戦のポイント

得意種目を武器に、どこで仕掛けるか アスリートの戦略を読もう!

経験と戦略のスポーツとも言われるトライアスロン。スイムで 先行し、差をつけるか。バイクで体力温存をはかるか。ランで追い 上げ、一気に抜き去るか。各選手が得意種目を武器にどう競り 勝つかが見もの。

第4の種目!? タイムを縮める鍵 「トランジション」とは

スイムからバイク、バイクからランへの種目の転換をトランジションという。次の種目のためにウエアやシューズを履き替える時間もタイムに含まれるので、その時間を縮めるために選手は各自工夫をこらす。トライアスロンの第4種目と言われるほど、重要なポイント。

パラリンピックの見どころ

3つの過酷な種目を乗り切った選手たち。フィニッシュの向こう側に見えるものとは。

1人で3つの種目(スイム、バイク、ラン)を連続して行い、その合計タイムで競うトライアスロン。

パラリンピックでは、リオデジャネイロ2016大会から正式競技となっている。レースの距離はオリンピックのちょうど半分となる「スプリント・ディスタンス」で、スイム(750メートル)、バイク(20キロメートル)、ラン(5キロメートル)の計25.75キロメートル。レースは男女別、クラス別に行われる。

障がいの内容や程度により6クラスに分かれ、クラスごとに競技方法が一部異なる。座位クラス(PTWC)は、バイクはハンドサイクルを使い、ランでは競技用車いすを使う。立位クラス(PTS2~5)はバイク、ランでは障がいに応じて義足など補装具を使用でき、バイクの改造なども認められる。視覚障がいクラス(PTVI)は、競技全体を通して同性のガイド1名と競技を行う。スイムからバイクへ、バイクからランへと種目を移行する過程の「トランジション」にも注目したい。

観戦のポイント

選手を支える「モノ」と「ヒト」 障がいを補うさまざまな工夫

立位クラスのバイク、ランでは障がいの内容や程度に応じて義足など補装具を使用でき、バイクの改造なども認められている。 パラトライアスロンでは工夫をこらした用具とともに、スイムからの上陸をサポートする「スイムエグジットアシスタント」や、視覚障がい者をサポートする「ガイド」など、選手をサポートする人々にも注目。

第4の種目と呼ばれる トランジションタイムの短縮が決め手

トランジションは競技種目の移行の過程で、用具の取り換えなどを行う時間のこと。この時間もタイムに含まれるため、ウエアや義足などの補装具を着脱しやすいよう改良するなど、各選手が工夫をし、無駄な動きの削減に努めている。トランジションエリアで選手をサポートする「ハンドラー」も重要なパートナーだ。



ご注意

- ※水上バス等海上交通機関に運休が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- ※競技中、横断可能ポイントを除き、コースの横断は出来ません。現場のスタッフの指示に従ってください。
- ※競技の進行状況によっては、規制時間が早まる場合があります。
- ※歩道橋での立ち止まっての観戦は出来ません。
- ※郵便物や宅配物などの配達に影響が出る場合があります。
- ※航空法に基づき、許可等を得ずにコース及び会場周辺で無人航空機(ドローン)を飛行させることはできません。

トライアスロンコース周辺の路線バス等のご案内

各日の交通規制に伴い、路線バス、空港バスなどの運休・バス停休止・遅延等が発生します。 運行の詳細につきましては、大会ホームページ、各バス会社ホームページをご参照ください。 なお、当日は道路混雑等の影響により、予定通り運行できない場合がございます。 ご利用のお客様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

- 都営バス 波01出入・海01・陽12-3
- **ケイエム観光バス** お台場レインボーバス
- **東京空港交通**(リムジンバス) 羽田空港線・成田空港線
- KABA BUS
- Sky Duck

- 京浜急行バス 井30・森30・森40 横浜駅(YCAT)⇔東京ビッグサイト線
- 東武バス スカイツリーシャトルお台場線
- **関東バス** 吉祥寺お台場直行バス

©T0KY02020

交通規制に関するお問い合わせ先

東京オリンピック・パラリンピックトライアスロン競技コールセンター

© 0570-09-2020

【受付時間】6/1~8/31までの平日 9:00~17:00 ※7/25·8/1は受付 試走日、競技日、予備日(実施の場合のみ) 2:00~17:00



オリンピック・パラリンピックの交通規制等のお知らせ

https://olympics.com/tokyo-2020/ja/news/transportation-notice/

チラシの使用に関する注意事項

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「本大会」といいます。)開催時における交通規制の影響を受ける会場周辺の施設の管理者・所有者等(以下「本利用者」といいます。)は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下「組織委員会」といいます。)が作成する交通規制情報を掲載したチラシ(以下「本チラシ」といいます。)について、その使用を希望する場合、以下に定める注意事項(以下「本注意事項」といいます。)に同意した上で、当該施設内に掲示・配架することができます。

本利用者が本チラシを掲示・配架したことをもって、本注意事項に同意したものとみなします。

1. ブランド保護基準の確認・遵守

組織委員会が定める知的財産の保護(https://tokyo2020.org/ja/utilities/copyright)及び大会ブランド保護基準(https://gtimg.tokyo2020.org/image/upload/production/ujqwxe8cojnsrmewsbfa.pdf)をご確認いただき、本大会のブランド保護に関するルールを遵守してください。

2. 使用条件

本チラシの掲示・配架にあたっては、以下の使用条件を遵守して下さい。

- (1) 本チラシは、本大会開催に伴う交通規制に関する案内目的のみに使用してください。
- (2) 本チラシのデータを、変更・修正・改変することは禁止します。
- (3) 掲示・配架可能箇所は、施設内の総合受付やパブリックスペースとします。ただし、施設内に総合受付やパブリックスペース等が設置されていない場合は、アンブッシュ・マーケティングに配慮した掲示・配架場所を本利用者が選定するものとします。
- (4) 掲示のための印刷可能枚数は、原則1枚とします。ただし、大規模施設等において上記(3)に記載する掲示可能箇所が複数ある場合は、その数を上限とします。
- (5) 営利目的(販売している商品等の広告、寄付金の募集等)での掲示・配架を禁止します。
- (6) 掲示・配架する施設のロゴや非パートナー企業広告・チラシ等と隣接した位置に掲示・配架することは禁止します。掲示・配架にあたっては、当該施設等が本大会に協力しているかのように誤認されることのないように注意 してください。
- (7) 掲示・配架が可能な期間は、本利用者に影響のある交通規制が実施される期間に準じるものとします。

3. 使用許諾の取消し

本利用者が本注意事項に違反して本チラシを使用した場合、その他組織委員会において本利用者による本チラシの使用を不適当と認める合理的な事由がある場合、組織委員会は、本利用者への本チラシの使用許諾を取り消すことができるものとします。その場合、本利用者は、組織委員会の指示に従い、本チラシを撤去及び廃棄するものとします。

4. 権利帰属

本チラシに係る商標権、著作権(著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含みますが、これに限りません。)、 意匠権その他一切の知的財産権は、組織委員会又はオリンピック若しくはパラリンピックの公式団体(国際オリンピック委員会(以下「IOC」といいます。)、 国際パラリンピック委員会(以下「IPC」といいます。)、 日本オリンピック委員会(以下「JOC」といいます。) 及び日本パラリンピック委員会(以下「JPC」といいます。) を含みます。) に帰属することを確認し、本利用者はこれを争いません。

5. 非保証等

本利用者は、(1)本チラシに関するあらゆる事項(本チラシの権利帰属及び本チラシの使用が第三者の権利を侵害しないことを含みます。)について組織委員会は一切保証しないこと、及び、(2)本利用者が本チラシの使用に関し一切の責任を負う旨を理解し、合意します。また、本利用者は、組織委員会、IOC、IPC、JOC 及び JPC 並びにこれらの代表者、役員、従業員、コンサルタント、代理人、契約者(スポンサー、サプライヤー、ライセンシー及び放送事業者を含みますが、これらに限りません。)その他関係者(以下、総称して「組織委員会等」といいます。)に対して、本チラシの使用に関する一切の責任追及を行いません。

6. 免責

本利用者は、本利用者又は本利用者が監督する第三者による本チラシの使用又は本注意事項の違反に関し、直接又は間接に生じるあらゆる請求、責任及び費用について、組織委員会等を免責し、一切の責任を問いません。

7. 準拠法、裁判管轄

本利用者は、本注意事項及びこれに関連する一切の事項に係る準拠法を日本法とすることに同意するとともに、本注意事項及びこれに関連する一切の事項に関する紛争について、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄とすることに同意します。